

委員会報告

社会奉仕委員会

竹内正巳副委員長

・薬物乱用防止「ダメ、ゼッタイ」国連支援募金のポケットコインを先週に続き行います。御協力よろしくお願ひします。

創立60周年記念委員会

玉井洋司記念事業委員長

・皆様のトレーに特別協賛：田辺・弁慶映画祭のパンフレットを入れています。8月11日の扇ヶ浜のタペでは「ヒックとドラゴン」を上映します。
・本日例会終了後、委員会を行いますので出席者の方はお残り下さい。

親睦活動委員会

柏木壽夫副委員長

・先週ご案内致しました9月1日に開催します会員家族会の出欠表とご案内を回覧します。ご記入お願いします。

しょうわ会

大崎光登しょうわ会幹事

・8月23日の夜、この例会場でしょうわ会を行います。来週より出欠表を回覧します。

前年度会計

新井康司会員

・7月10日に、植田芳史会員により前年度会計の監査を行って頂き無事終了しました事をご報告致します。本来なら配布するところですが、近く活動報告・計画書の冊子が完成いたしますのでそれに代えさせていただきます。

野球部

新井康司会員

・全国ロータリー野球大会の事務局より大会結果が届いていますので回覧致します。

プログラム

2012-2013年度

『年間活動計画 II』

親睦活動委員会

植田英明委員長



☆「わ」を高めるべく会員相互並びに会員家族の親睦を深める。
☆新会員の歓迎会を行う。
☆配偶者の誕生日をお祝いし、生花を贈る。
☆ゲスト、来訪ロータリアンを歓迎する。
☆各委員会と交流しロータリーやクラブの歴史を学ぶ。

☆60周年事業に積極的に参加する。

雑誌委員会

瀬戸英男委員長



1. 会員の皆様により親しんで愛読していただけるように努めます。
2. 雑誌月間の充実を図ります。
3. 「ロータリーの友」への投稿を勧めます。
4. 外部の方にもロータリーを理解していただく為に、「ロータリーの友」を利用するように努めます。

・外卓者に雑誌の贈呈

・公共機関、図書館、病院等への配布

広報委員会

竹本達也委員長

会報委員会と連携してロータリアン以外の皆様に対して「ロータリーの活動」を広く伝えていくよう努めるその一つの具体的な手段として、田辺ロータリークラブのホームページをリニューアルして、より効果的な広報活動を行う。

唱歌委員会

寒川真典委員長



1. 毎月第一例会に、君が代、奉仕の理想を歌う。
2. ロータリーソングや親しみのある歌を選択し、歌を通じて楽しい例会の雰囲気づくりに努める。
3. 誕生日の歌、結婚記念日の歌、皆出席の歌を斉唱し、お祝いする。

記録委員会

竹中幸一委員長



1. 幹事及び各委員長と連絡を密にして、正確な記録の保存に努める。
2. 次の周年事業のために、前年度今年度の資料や事業の記録を整理する。
3. 各種データは出来る範囲でパソコンに入力する。
4. 事業活動の写真や新聞記事は収集漏れのないように整理保管する。

職業分類委員会

三谷昌平委員長



手続要覧の職業分類の内容を認識し、田辺クラブの会員増強に協力する。

1. クラブ定款第8条の規定に従い、当地方の職業分類リサーチを行い、クラブ細則第8条第1節(b)により8月31日までに職業分類表を作成する。
2. 会員の職業分類に関する問題が生じた場合、検討を行い理事会と協議する。
3. 職業分類表を会員に配布するとともに、空席の職業分類を会員に周知し、会員増強委員会と共に会員増強に努める。

会員選考委員会

宮本恭平委員長

会員選考については、推薦者及び関係委員会と緊密な連絡をとり、ロータリアンとしてふさわしいか、当クラブにとって必要な人材であるか、又ロータリアンとして活動出来るか、次に掲げることを検討して理事



- 会に報告する。
1. 人格と評判は良いか。
 2. 健康で例会等への出席出来るか。
 3. 奉仕の精神があるか。
 4. 会員としての財政的義務を果たせるか。

会員増強委員会

横田達夫委員長



大変、厳しい経済情勢の中、各クラブで会員減少に歯止めがかからない状況が続いています。60周年の記念の年に、減少しないように会員の皆様の協力をお願いします。

1. 純増3名を目指す。特に女性会員を増やします。
中松会長より強い指示がありました。

2. 全会員に退会をしないようにお願いします。
プログラム委員会と親睦活動委員会に魅力ある例会作りを。
3. 会員増強はクラブ全員の力が必要です。情報提供をお願いします。

ロータリー情報委員会

新井康司委員長



1. 60周年記念事業のことも有り100周年に向けての田辺ロータリーこれからの我がクラブ、田辺クラブの長所、短所等の議題で会長指導のもとファイヤーサイドミーティングを6班に班編成し実施したい。(親睦活動委員会に協力をお願いしますの予定。)

2. 2013年に規定審議会が開かれ、R.I定款細則等改正される可能性があるので速やかに伝えるよう努力する。
3. 新会員に新会員マニュアルを配布すると共に田辺ロータリークラブとしてのロータリー情報を伝える。

職業奉仕委員会

阪本哲次委員長



1. 「ロータリーにおける職業奉仕」とは、その理念と理想の実現に向け努力する。(職業奉仕月間の例会等に取り入れてもらう)
2. 綱領、四つのテストの朗読を毎月の第1例会時に交互におこなう。(7月は綱領から)
3. 事業所、職場見学の実施。

4. 地域中学校の職場体験の要請があれば積極的に支援する。

社会奉仕委員会

竹内正巳副委員長



奉仕を通じて地域社会との連携協力を深めて、「奉仕を行動」に移す時、高齢者や次世代を担う青少年たちが「心」で触れ合い、人としての幸福感、未来に向けての共通認識を持てるような活動を行いたい。

1. 他クラブあるいは地域との合同社会奉仕活動
暴力団追放への啓発活動
地域内 市民活動団体及び各行政との連携活動
震災波等地域災害に備えての防災意識向上活動
2. 地域環境保全活動
はまゆう 群生促進及び地域社会の美化・清掃・維持活動
3. 識字率向上 慈善事業
地域社会 地域の学校と連携しての スポーツ・音楽会への支援
正しい言葉の使い方・話し方、正しい漢字の書き方・読み方・読書の習慣・本の寄贈(ロータリー母親文庫の充実)
薬物乱用防止関連活動・エイズ問題への取り組み(世界エイズデー)

青少年奉仕委員会

松田 清委員



1. 青少年の健全育成に取り組む為、近隣のロータリークラブや、青少年育成関連団体と連携を強め、積極的に活動していく。
2. RYLA研修(ロータリー青少年指導者育成プログラム)への、研修生及びロータリアンの参加を促す。

3. ローターアクト設立検討小委員会で、ローターアクトが、当クラブで設立運営が可能か調査・検討する。
4. ロータリー財団部門及び国際奉仕委員会と協力し、地域の若者の活性化の一助となるような事を考える。

国際奉仕委員会

三前 剛委員長



国際奉仕委員会の夢を実現するため、国際間の理解と親善を深め、さらなる平和と奉仕の輪を広げるよう推進する

1. 世界社会奉仕プログラムの重要性和理解を深め、世界平和の実現に協力する。
2. ロータリー財団部門及び新世代部門と協力し、地域の若者の活性化の一助となるようなことを考える。
3. 世界理解月間に、国際奉仕に焦点を絞ったプログラムを実施計画したい。

ロータリー財団委員会

木村頼文委員長



1. クラブ会員の皆様にロータリー財団の意義及び目的をご理解いただくため活動する。
2. ロータリー財団の趣旨をご理解された上で財団へのご寄付をお願いする。
 - ① ポール・ハリス・フォローの推挙

② 準フェローの増強

③ ベネファクターの推挙

3. 2013-2014年からのロータリー財団の新しい未来の夢計画を次年度に伝えていきます。

米山奨学委員会

三前 洋委員



公益財団法人ロータリー米山奨学会は、勉学、研究を志して日本に留学している外国人留学生に対して、ロータリーの理想とする国際理解と親善を深めるために、日本のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し援助する民間最大の奨学団体です。

1. 会員皆様のご協力のもと、寄付金の目標達成に努力する。
2. 米山月間又は、月間以外にも奨学生を例会に招き卓話をして頂き、奨学生の理解を深め、奨学事業の意義を実感できる機会を設けたい。
3. 会員の皆様に、米山奨学会の情報を伝達し、そして新会員に対しては、米山奨学会について理解して頂くよう努力したいと思う。

創立60周年記念委員会

渡部正義委員長



1. 記念式典、物故会員の追悼法要、ゴルフ記念大会は、下記日程で行います。

<記念式典>

日時 平成25年4月18日(木)

AM11:30~PM2:00

場所 紀伊田辺シティプラザホテル

<物故会員の追悼法要>

日時 平成25年4月4日(木) 例会終了後

場所 宝満寺

<記念ゴルフ大会>

日時 平成25年3月17日(日)

場所 白浜ゴルフ倶楽部

2. 60周年在籍会員から100周年へのメッセージを60周年記念誌に掲載する。(30字以内)
3. 例会及び情報委員会主催のファイアーサイドミーティングにおいて下記議題で話し合い記念誌に掲載す

る。

クラブの長所、クラブの短所、クラブの活性化について、地域活性化のためにロータリーは何をすべきか熊野の世界遺産登録と地域の活性化等

4. 60周年記念誌に、創立10周年記念誌の当時の会員のメッセージを30字以内にまとめ関係住所に送る。
5. 60周年記念事業の実施
(改装後の田辺駅前広場への時計塔等計画中)
6. 田辺ロータリークラブ60周年の歌の作詞作曲を募集し記念式典例会で披露する。
7. 60周年から100周年へ、年50万円の積立(40年で2000万)を提唱する。

プログラム委員会

玉井洋司委員長



プログラムを充実させ会員が参加できる例会を目指します

1. 各員会に連携、協力をお願いし、月間プログラムの構成を目指します。
2. 会員卓話の充実を図ることにより会員相互の理解を目指します。
3. 新会員卓話をするにより田辺ロータリーへの理解を深めて頂きます。
4. 外卓の情報を各委員会や会員の皆様へお願いします。
5. クラブ活動地域内での地域の活動等に焦点をあてる。
6. ニュース性のある外卓を増やす。
7. 各委員会活動の活発化に協力する
8. 創立60周年記念事業への協力をする。

幹事

長井保夫幹事



中松会長のもと、幹事を務めさせて頂きます長井です。

幹事としては、不相応と認識しておりますが、皆様方にご迷惑かけること無きよう、会長方針の浸透と実践、そしてクラブの円滑な運営に努力を傾注する覚悟でございます。

中でも「温故知新」、60周年という節目の年度に際し、クラブを支えてこられた先輩諸氏の言葉に耳を傾け、伝統ある田辺クラブの歴史を学び、次代へ継承をする。それらの活動が縦横の綾織りとなり「わ」に繋がる。という崇高なる会長方針の実現に向け、微力ではありますが、役目を全うしたいと考えます。

皆様方のご指導ご鞭撻をお願い致しまして、御挨拶といたします。

